

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。
シューズについては、競技規則 TR5.2 を適用するが、小学生種目については適用しない。

2 練習について

- (1) 練習は、サブトラック（競技場南の手柄山中央公園）を使用すること。ただし、フィールド競技の練習は禁止する。
フィールド競技の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で行う。
- (2) サブトラックの使用上の注意は下記の通りとする。
 - ア) レーンが少ないので、ウレタン舗装路でのジョグはしない。
 - イ) レーンは左回りのみで、逆走はしない。
 - ウ) ハードルの練習は西側（直線6レーン）の外側2レーンで行う。
 - エ) サブトラック-競技場間の移動は、安全を考慮し、できる限り歩道橋を利用すること。

3 招集について

- (1) 招集所は第2ゲート入口付近に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順について
 - ア) 競技者は招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスとシューズの確認を受ける。
※スパイクピンの長さ 走高跳・やり投: 12 mm 以内 その他: 9 mm 以内（ニードルピンの使用も可とする。）
※ランニングシューズのソールの最大の厚さ 20 mm 以内
 - イ) トラック競技に出場する選手は競技者係で腰ナンバーカードを受け取り、右腰につけて競技に出場すること。
800 m 未満: シールタイプのもの。ゴール後、各自で処分すること。
ただし、県内中学生・高校生については各自で用意したものを使用すること。
800 m 以上: 布タイプのもの。ゴール後、アスリートビブス係へ返却すること。
 - ウ) 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることができない種目の点呼（アスリートビブスとシューズの確認）を受けておくこと。
 - エ) 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし処理する。
 - オ) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。
* 多種目同時出場届、欠場届は、招集所備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) 男女100m、男女200m、男子400mは、予選の記録上位16名でタイムレース決勝を行う。
決勝の番組編成は予選タイム9～16位を第1組、1～8位を第2組とする。
- (3) 男子5000m、女子3000m、男子3000mSC、男女5000mWは、別ビブスを使用し、終了後アスリートビブス係に返却する。
- (4) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録（1/100秒単位）がある場合は、1/1000秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない場合は、本人または代理人による抽選で決定する。
- (5) 小学校のリレーは、スターティングブロックを使用してもよい。
- (6) 男女5000mWについては、競技運営の都合上、35分を超えた場合、次の周回に入らず競技を打ち切る場合がある。
- (7) リレーについて

ア) オーダー用紙はプログラム巻末にあるものを利用し、下記の時間に情報処理係（本部記録室）へ提出する。

	予選	決勝
小学男子・女子4×100m		第1日目 7:30～8:30
男子・女子4×100m	第1日目 7:30～8:20	13:10～13:40
男子・女子4×400m	第2日目 7:30～8:20	12:55～13:25

イ) 4人のユニフォームは上下同一デザイン・同系色のものであれば、形状は問わない。

- (8) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。ただし、気象条件により変更する場合がある。

男子走高跳	1.65(練)	1.70—1.75—1.80—1.85……………以降3cm単位で上げる
女子走高跳	1.35(練)	1.40—1.45—1.50—1.55……………以降3cm単位で上げる
男子棒高跳	3.00(練)	3.20—3.40—3.60—3.80—4.00—4.20—4.40…以降10cm単位で上げる
女子棒高跳	1.80(練)	2.00—2.20—2.40……………以降10cm単位で上げる

* 第1位が同成績の場合の順位決定は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmの幅でバーを上げ下げする。

- (9) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。
フィールド競技では競技場所に近接した観客席の一角にコーチ席を設ける(コーンで区画する)。選手とコミュニケーションをとる、動画再生機器で録画画像を見る場合は、この場所でおこなうこと。
- (10) 競技エリア内での日傘の使用は、安全確保の観点から禁止する。

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) やりは競技場備え付けのものを用意するが、自己のものを使用する場合は、下記の検査場で検査時刻に検査をうけること。ただし、検査後は主催者で預かり出場者全員で共用できるものとする。
・検査場所：正面玄関ロビー
・検査時刻：男子 第2日目 8：00～8：15 女子 第2日目 11：15～11：30
- (3) リレーのマーカ―(最大5cm×40cmの養生テープ)、走高跳のマーカ―(養生テープ)は各自で用意すること。
リレー競技は競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。

6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは2026年度登録番号を使用する。
- (2) 小学生・中学生については、各校から出場する場合は小学校・中学校の学校番号を使用する。地域スポーツ団体から出場する場合は、申込時記載の団体登録番号または個人登録番号を使用する。

7 表彰について

種目別3位までの表彰を行う。入賞者は、各競技終了後ただちに正面玄関ロビーの表彰席に集合すること。

8 その他

- (1) メインスタンドにシートを敷くことを禁止する。
- (2) 競技結果および次のラウンドへの出場資格者、番組編成は場内アナウンスによって発表する。また、姫路市陸協のHPにも掲載する。(掲示板への掲示は行わない)
- (3) 競技開始後は、競技役員・補助員・選手以外は許可なく競技場内に入ることを禁止する。
- (4) 競技中に発生した傷害、疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- (5) 盗難には、個人、各団体で十分注意すること。万一盗難にあった場合、主催者はその責任を負わない。
- (6) 拾得物については庶務係(正面玄関ロビー)で保管する。
- (7) ゴミは、必ず各自で持ち帰ること。

9 事務連絡

- (1) 個人、各団体で必ず受付をすること。受付は、正面玄関ロビーで7時30分から行い、プログラムを配布する。
- (2) 競技場の開門時刻は、7時30分とする。交通妨害や事故防止のために、早朝より並ばないように注意すること。
- (3) 競技場には駐車場がないので、手柄山付近の有料駐車場を使用すること。
- (4) 別紙の「第35回姫路陸上競技選手権大会 連絡事項」を必ず確認すること。